

令和 2 年度 京都市予算案 事業概要

文化市民局

事務事業名	性の多様性の理解及びLGBT等の性的少数者の社会参加の促進プロジェクト		
予算額	2,800 千円	新規・充実・継続の別	新規
担当課	共生社会推進室 人権文化推進担当(366-0322)		
<p>【事業実施に至る経過・背景など】</p> <p>LGBT等の性的少数者の方々については、社会の関心が高まってきているが、いまだ、周囲の不用意な言動に傷つかれ、不安を抱いている方も多く、また、行政手続や学校、企業等での生活においても困難に遭遇されることがある。</p> <p>このため、本市では、性の多様性についての理解を深めるため、啓発講座の開催など、教育・啓発に取り組むとともに、「申請様式等の性別記載欄の見直し」をはじめとして、性的少数者に寄り添う取組を行ってきたところである。令和元年度は、本市の「人権文化推進計画」の中間年に当たることから、社会状況等の変化に対応するための見直しを進めており、性的少数者の人権については重点課題の一つとして位置付けることとしている。そこで、令和2年度は、「誰ひとり取り残さない」共生社会の実現を目指して、性の多様性の理解と性的少数者の社会参加の促進に資する様々な取組を行う。</p>			
<p>【事業概要】</p> <p>(公財)世界人権問題研究センターや男女共同参画センター「ウィングス京都」、市内大学等と連携しながら、以下の取組を実施する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 性の多様性や性的少数者に関する理解を促進する取組 <ol style="list-style-type: none"> シンポジウムの開催 市民を対象とした講座の開催 性の多様性をテーマとした広報誌の作成・配布 四字熟語人権マンガの表彰に特別賞を設定 企業と協働した性的少数者に関する理解を促進する取組 <ol style="list-style-type: none"> 企業向けパンフレットの作成 <p>企業は性的少数者の社会参加に重要な役割を担うため、先進的な取組を行っている企業の実例などを踏まえながら解説する冊子を作成し、市内企業等に配布する。</p> 企業向け人権啓発講座の開催 コミュニティスペースの試行実施 <p>性的少数者の意見交換や経験の共有、交流などの「場」として、試行的にコミュニティスペースを開設する。</p> 			
【参 考 (他都市の状況・事業効果など)】			